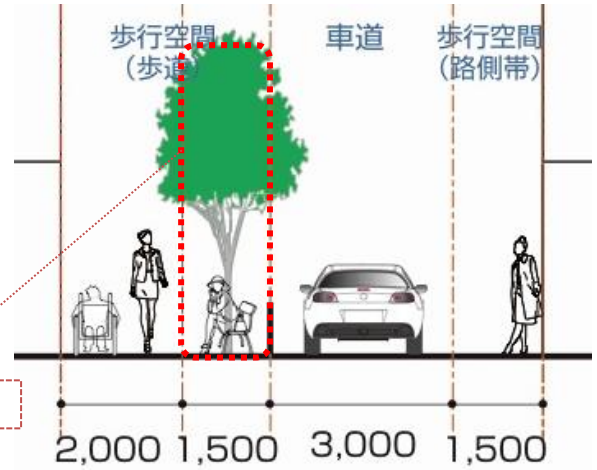


目指すべき姿

「歩行者と自動車が共存した歩きやすい通り」  
「袋町裏通りらしさが演出できる通り」 を目指します！

基本的な考え方（整備方針）

- ①ユニバーサルデザインに配慮した道づくり
- ②通過型の自動車交通を抑制する道づくり
- ③アクティビティが生まれる空間づくり
- ④イベント等による道を使ったにぎわいづくり



「アクティビティが生まれる空間」をつくる

構造的ポイント

- ◆できるだけフラットでバリアフリーにする。
- ◆きょうさくがた狭窄型歩車共存道路をベースに自動車の速度を抑制する。
  - ・アクティビティ空間を多く設ける
  - ・通りの出入口に車の速度抑制を設ける (蛇行、ゲートサイン、ランプなど)
  - ・車がすり抜けできる空間を一部設ける

デザインのポイント

- ◆視覚的に車が速度を抑制する道路をデザインする。
- ◆広場の中を通るような一体感のある道路をデザインする。

アクティビティ空間のテーマ

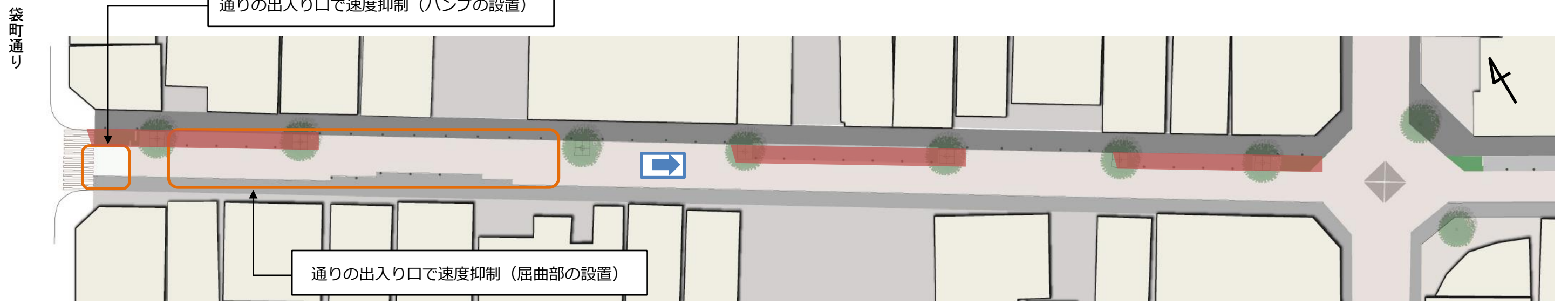
- ◆緑・四季を感じる空間
- ◆デザイン・アート性の高い空間

にぎわいづくりのポイント

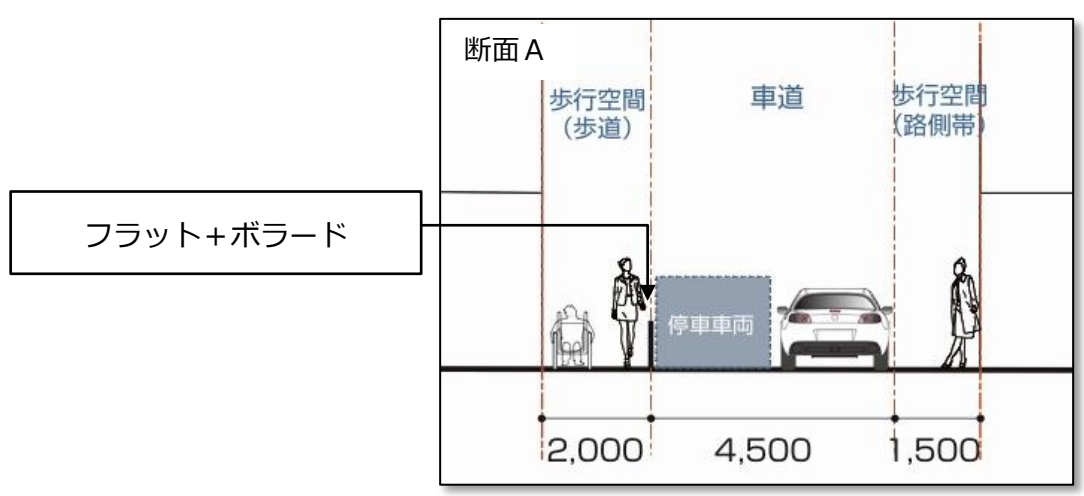
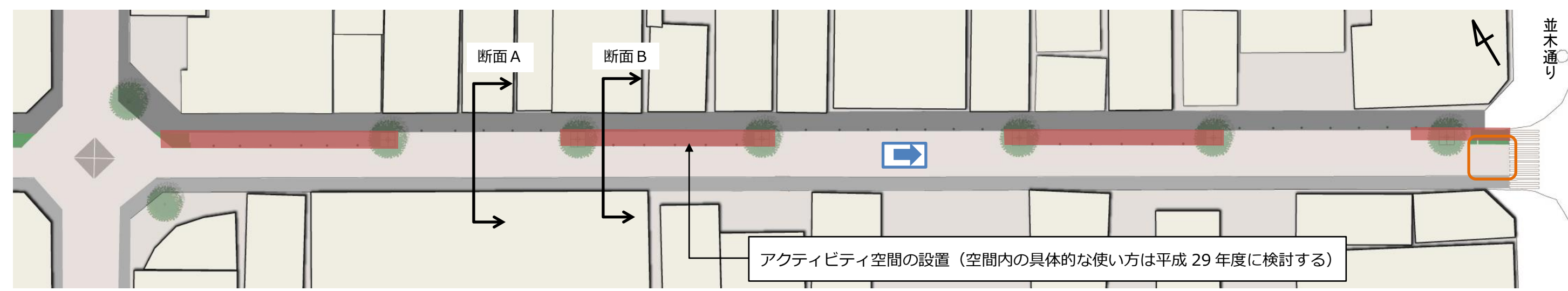
- ◆時間を定めてイベントの開催等

# 道路平面と空間構成

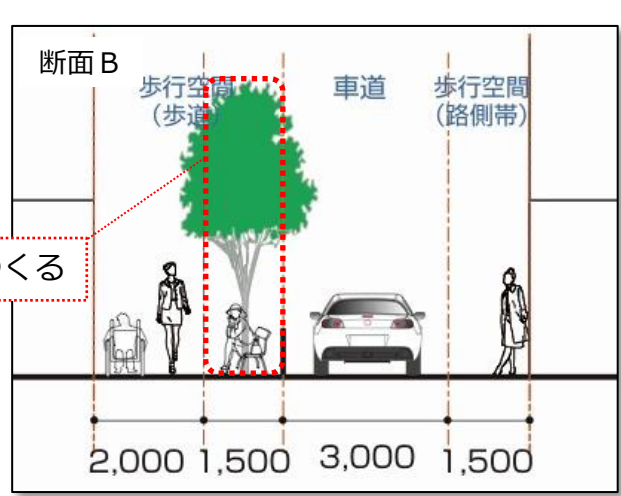
## ■西側街区



## ■東側街区



「アクティビティが生まれる空間」をつくる



**凡例**

- アクティビティ空間 (道路占用空間)
- 占用物 樹木 (想定)

※アクティビティ空間の配置、デザイン及び具体的な占用物については平成 29 年度に検討する。